

基本目的 1 市民が快適に暮らせるまちになる

行動目標 1-1 快適に暮らせる生活基盤が整う

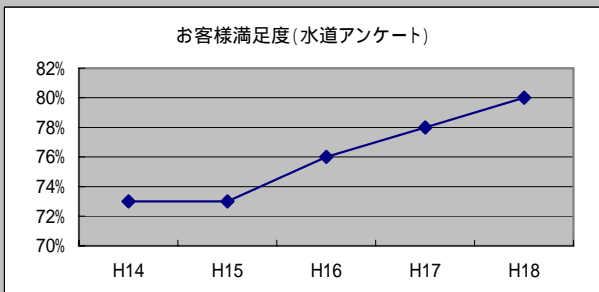
(所管課名 上下水道局 水道施設課・水道建設課)

任務 市民に安全・安価でおいしい水道水を安定して供給する

任務の成果・活動指標の推移

お客様満足度(水道アンケート)

H14実績	73%
H15実績	73%
H16実績	76%
H17実績	78%
H18目標	80%



水道基幹施設耐震化事業

	配水池・接合井	幹線配水管
H14実績	2箇所	792m
H15実績	0箇所	136m
H16実績	2箇所	1,256m
H17実績	2箇所	1,913m
H18目標	0箇所	1,566m
進捗率	53%	44%

鉛給水管布設替事業

	布設替件数
H14実績	985件
H15実績	1,564件
H16実績	1,117件
H17実績	788件
H18目標	1,650件
進捗率	32%

配水管布設・経年管布設替事業

	配水管布設延長	経年管布設替延長
H14実績	4,815m	1,077m
H15実績	4,242m	549m
H16実績	3,989m	2,385m
H17実績	1,916m	2,698m
H18目標	630m	3,520m
進捗率	62%	50%

指標の説明

水道事業は、市民に安全・安価でおいしい水道水を安定的に供給することを目的としており、毎年実施している市民アンケートにおける水道への総合的評価としての満足度を指標とした。また、水道水の安定供給のための主要事業ごとの事業量を掲げた。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

安全でおいしい水道水を安定して供給することを目的とし、この実現に向けた効率的な事業運営に取り組んできたが、その結果、毎年実施している市民アンケートにおいて、水道事業に対する総合的評価といえるお客様満足度は毎年着実に向上している。取組事業は次のとおり。

水道水の安定供給施策として、平成12年度から進めている水道基幹施設耐震化事業は緊急性、重要度を勘案しながら整備を進め、平成17年度末の進捗率は、配水池・接合井が53%、幹線配水管が44%となり、また、防災(地震)対策事業としては耐震型緊急用貯水槽の整備(1基)を進めた。さらに、配水管布設事業及び経年管布設替事業については概ね計画どおり進捗した。これらの取り組みにより水供給の安定度をより高めた。(進捗率は第1期水道施設整備計画に対する率。)

水道水の安全性を高める施策として、鉛給水管布設替事業を進めるとともに、中央監視システム構築事業を進め、旧四日市市分が概成し、業務の効率化、監視体制の強化が図れた。

事業に伴う環境負荷を低減する施策として、「環境に優しい水づくり」をめざし、高岡配水池に小水力発電所の建設に着手した。

平成18年度

耐震化事業、鉛給水管布設替事業、配水管布設事業および経年管布設替事業については継続して事業を進め、重要課題に取り組む。

防災(地震)対策事業については、耐震型緊急用貯水槽をさらに1基増設する。

中央監視システム構築事業は計画を完了する。

小水力発電事業については建築工事、設備工事を進め、平成19年度の稼働を目指す。

水需要及び自己水能力を予測するとともに、湯水等を勘案し、受水計画を確定する。

これからの課題、施策等展開の方向性

耐震化事業、鉛給水管布設替事業および経年管布設替事業については事業を前倒しするなど、より安心で、安全・安定な給水を実現する。

小水力発電事業を通して、環境との調和、バランスを重視した事業運営にも努めていきたい。

平成20年度には「地域水道ビジョン」を策定し、市民のニーズに対応した信頼性の高い水道の次世代への継承を目指す。